

令和2年10月31日

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防及び対策における
第46回熊本県U12（ミニ）バスケットボール大会について

（一社）熊本県バスケットボール協会U12部会

1 県大会における新型コロナウイルス感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

- JBA 及び熊本県スポーツ協会等の感染症対策を遵守する。
- 保健所等の関係機関と協力し、最大限の感染症対策を行う。
- 参加チーム及び大会役員、施設等と連携し、感染症対策を最大限講じる。

(2) 大会参加基準について

	判断基準	備考
チーム不参加	・チーム関係者に感染者が複数出た場合	指導者及び保護者により、保健所の指示に従うとともに、参加の可否について相談する。 大会主催者と相談する。
チーム参加検討	・チーム関係者にPCR検査を受ける、または受ける予定者が複数いる場合 ・チーム関係者に濃厚接触者又はその疑いがある者が複数いる場合。	指導者及び保護者により、保健所の指示に従うとともに、参加の可否について相談する。 大会主催者と相談する。
指導者及び選手の不参加	・PCR検査で陽性となった場合 ・PCR検査を受ける、または受ける予定の場合 ・濃厚接触者又はその疑いがある場合。	指導者及び保護者により、保健所の指示に従うとともに、参加の可否について相談する。 大会主催者と相談する。
指導者及び選手の参加検討	・選手の学校及び指導者の職場等で社会体育への参加について指示等が出ている場合	

※各保健所及び地方公共団体、各教育委員会、学校等の指示を優先させてください。

(3) 3密を防ぐ対策（チーム関係者及び保護者について）

- 選手・チームスタッフは、メンバー表に記載された者のみとする。
- 保護者は、選手につき1名のみとする。
- ※選手及びチームスタッフ、保護者は、JBA健康チェックシート（参加チーム用）を当日提出する。
- ※参加者名簿（選手及びチームスタッフ、保護者）を作成し当日提出する。
- ※来館者は、必ず「ID（チーム名と保護者）」を携帯する。

(4) 大会当日の感染症対策

- 受付の設置・会場入り口での検温
- 健康チェックシートの提出
- 消毒液の設置
- 観客席の配置（参加チームごとに区割りを行う。）

- 館内でのマスク着用
- 大声での声援を控える
- 用具・機材等の消毒
- アリーナ内のソーシャル・ディスタンスの確保
- アリーナ内の保護者席の設置

2 会場別新型コロナウイルス感染症対策

<p>【ウイングまつばせ】</p> <p>《全体共通事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者名簿の作成 ・名簿に記載のない方は来館できない ・当日の検温 ・3密を避ける ・マスク着用の徹底 <p>《人数制限》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観客席500人 ・フロア500人 	<p>【御船町スポーツセンター】</p> <p>《全体共通事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者名簿の作成 ・来館時に備え付けのチェックシートに記入 ・検温して来館 ・人と人との間をあげ、3密を避ける ・館内のマスク着用（競技中、息苦しい場合はすみやかにはずす） ・37度を超える場合は利用を控える <p>《人数制限》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技者200名以内 ・大会時の観客席利用は1家族につき1名。
--	---

※会場による違いをなくすため、本大会では、選手1名につき保護者1名までの入場制限を設ける。

3 参考資料

【JBA 新型コロナウイルス感染症対策】

(1) 陽性者・濃厚接触者・体調不良者の定義

(JBA バスケットボール活動再開ガイドライン第2版 2020年9月10日作成)

- ・「陽性者」とは、以下の症状の有無にかかわらず、「PCR検査、抗原検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。

新型コロナウイルス感染症が疑われる症状

発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気、嘔吐等

- ・「濃厚接触者」とは、陽性者の感染可能期間内に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指します。

濃厚接触者は陽性者が判明した際に保健所が特定するので、行動履歴の記録は非常に重要です。

- 陽性者と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- 適切な感染防護なしに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者
- 陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- その他：手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防対策なしで、陽性者と15分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。

・「体調不良者」とは、以下の目安に該当する方と考えられます。

1. 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方（高齢者や基礎疾患がある人）で、発熱やせき「などの比較的軽い風邪の症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。

※発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

（2）大会までの対策

① 事前の対応

- ・主催者は、会場において感染対策に向けた準備を行うと共に、参加チームに対して感染防止のために選手・スタッフが十朱すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求める。
- ・主催者及び参加者（チーム）はそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前・事業実施・事後に相互に連絡を取り合える環境を構築する。
- ・参加者への感染症対策の事前共有
- ・健康チェックリスト（2週間前から当日）
- ・会場における感染対策
 - マスク着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
 - 手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。
 - スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。
 - 試合前後または試合中に、握手、ハイタッチ等の接触を避ける。

②事後対応

- ・主催者は、競技会終了後に陽性者／濃厚接触者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、イベント等当日の参加者から取得した書面や健康チェックシートを、保存期間（少なくとも3ヶ月）を明記したうえで保存しておく。
- ・競技会後に、参加者から陽性者／濃厚接触者が出たと報告があった場合には、陽性者／濃厚接触者と協力し感染拡大の予防を行う。